

北イタリア治安情勢通報

～ クレジットカードすり替え被害が依然として発生中！～

ミラノ中央駅やマルペンサ空港内において、「自分のクレジットカードが使えない状態だが、代わりに使ってみてくれないか」等と声をかけられ、その対応中に被害者のクレジットカードと犯人のクレジットカードをすり替えられる被害が発生しています。



この手口は従前からあるものとみられ、当館ホームページの北イタリア安全対策情報（2018年4月～6月）や北イタリア治安情勢通報（2016年2月）でも注意喚起してきたところです。

困った人を助けてあげる行為は、傍らで見ている気持ちの良いものですが、その親切心を悪用する犯罪者がいることにご注意ください。

1. 犯人像

黒人男性、25～35歳、身長180cm位、体格がっちり

（これは一例です。犯人像にとらわれることなく、クレジットカードの使用を求め
る行為に注意する必要があります）

2. 被害の状況

12月初旬、マルペンサ空港内において、犯人は被害者に対して「公衆電話で国際電話をかけたいが、自分のクレジットカードが使用できないので、（被害者のものを）利用させてくれないか」旨申し出があったことから、被害者がこれに応じて暗証番号を押すなど操作した後、犯人が当カードを触った際にすり替え盗んだ模様。

暗証番号に関しては、被害者の入力時に窃視したか、電話機にあらかじめスキミング装置を設置していたものと思料。

後日、使用歴に不審点をもったクレジットカード会社から被害者に連絡があり、被害が発覚したものの。

3. アドバイス

○ クレジットカードは、他人に触らせない

これにつきます。路上で他人にクレジットカードを触らせるケースというのは、まず考えられません。店員であってもカードを渡した際は、目を離さないでください。「スキマー」と呼ばれる情報抜き装置でカード情報を盗まれる可能性があります。

○ クレジットカード利用時は差入口・背後、利用後も周囲に注意

ATM等のクレジットカード差入口には、「スキマー」設置の可能性があります。差入口の色が本体と異なったり、突起物がないか確認し、使用時は暗証番号を窃視されないよう周囲を確認しましょう。また、できれば警備員がいる銀行内設置のATMを利用し、利用後は不審者につけられていないか確認しましょう。

○ 路上等で声を掛けられたら犯罪を疑い、カバン等貴重品に注意を払う

旅行先での現地人との交流は、旅行の楽しみの一つではありますが、路上等での声かけは、スリ、置き引き等での手口でも多数見受けられます。相手の申し出に対して、安全に対処する自信がなければ、自分の身を第一に考え、立ち去りましょう。

4. 参考

クレジットカード犯罪の被害補償については、各クレジットカード会社で定められているところ、被害者に重大な過失があると認められた場合には補償外となってしまいます。万が一被害に遭われた場合には、クレジットカード会社や最寄りの警察署にご相談ください。

本通報に関する問い合わせ先

総領事館代表電話：02-6241141 info@ml.mofa.go.jp